

水稲 発生に注意すべき病害虫

■ 斑点米カメムシ類

- ・ 出穂期から乳熟期にかけてもみを吸汁し、米の品質を低下させる。
- ・ 近年、近府県でイネカメムシの被害が急増している所以要注意。



▲ アカスジカスミカメ

体長5～6mm。体は淡緑色で、背中に1本の赤い線が入っている。脚と触角が赤い。



▲ ホソハリカメムシ

体長9～11mm。体、脚ともに黄褐色。肩の部分が鋭くとがっている。



▲ クモヘリカメムシ

体長15～17mm。体、脚ともに緑色で、翅は淡褐色。体は細長い。



▲ アカヒゲホソミドリカスミカメ

体長5～6mm。体、脚ともに淡緑色。触角と脚の先端が赤い。体は細長い。



▲ イネカメムシ

体長12～13mm。体、脚ともに黄褐色。他の斑点米カメムシより早く水田に侵入してくる。玄米の基部を加害する。

原図：農林水産省植物防疫所病害虫情報第127号